

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2020年6月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで57年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース (<https://houkon.jp/galaxy-database/>)」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

◆お問い合わせ先

放送批評懇談会／担当：福島・齋藤
〒160-0022 新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510
kondankai@houkon.jp <https://houkon.jp/>

放送批評懇談会



2020年6月度ギャラクシー賞月間賞

「世界は3で出来ている」

6月11日放送 23:00~23:40 フジテレビジョン

ソーシャルディスタンスドラマと銘打っているが、いい脚本、いい演出、いい俳優で普通にいいドラマを見た実感。三つ子それぞれの「思ってもみなかった3カ月」は、コロナ禍を生きる人々への応援に満ちている。三つ子を端正に演じ分けた林遣都の力量も光る。

ドラマスペシャル「スイッチ」

6月21日放送 21:00~23:04 テレビ朝日 MMJ

さりげない会話のなかで繰り出されるパンチライン、中盤で意外な方向へドライブしていく物語構成、善と悪の境界線の滲み方など、坂元裕二脚本のエッセンスを2時間に凝縮したような見応えあるドラマだった。松たか子と阿部サダヲの相性の良さに加え、その脇に立つ眞島秀と中村アンとのバランスも見事。

魔改造の夜「トースター高跳び」「ワンちゃん25m走」

6月19日、26日放送 22:00~23:00 日本放送協会 テレビマンユニオン NHKグローバルメディアサービス

家電やおもちゃのリミッターを外し改造する「魔改造」に一流のエンジニアたちが挑戦。やっていることはひたすらバカバカしいが、それに本気で取り組む熱さに胸を打たれた。「魔」を意識した音楽やセットなどの演出も背徳感を高め、エンジニアたちの最高峰の知性と技術、そして狂気を活写した。

ETV特集「すべての子どもに学ぶ場を～ある中学校と外国人生徒の歳月～」

6月27日放送 23:00~24:00 日本放送協会

岐阜県可児市蘇南中学校は約20%が外国籍の生徒。彼らは義務教育の対象とはされていない。20年前、彼らは「お荷物」とみなされ、学校に居場所はなく、学ぶ機会も与えられなかったが、一人の卒業生の言葉で学校が変わる。可児市と蘇南中学校の奮闘ぶりが紹介されるなか、教育には「学力をつける」だけでなく、人として尊重され、自尊心を育てるという重要な目的があることを教えてくれた。